

発刊にあたって

令和7年9月、次期学習指導要領の改訂に向けた中央教育審議会の「論点整理」が公表されました。そこでは、デジタル技術の進展や社会の急変を背景に、生涯にわたり主体的に学び、自らの人生を舵取りできる「民主的で持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられています。特に「主体的・対話的で深い学び」の実装、多様性の包摂、実現可能性の確保という三つの方向性が示され、これらを三位一体で具現化するカリキュラム・マネジメントの更なる深化が急務となっています。こうした中、生成 AI 等の効果的活用による、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、および働き方改革を見据えた教育活動の抜本的見直しも、喫緊の課題です。

本県においては、令和7年3月に「しまね教育振興ビジョン」が、令和8年3月に「しまね特別支援教育魅力化ビジョン」後期版が策定されています。これらのビジョンに基づき、学校・家庭・地域・行政が連携し、一体となって、本県の教育を推進しております。

島根県教育センターにおいては、「学び続ける教職員の育成と校内 OJT を支援する教育センター」をブランドデザインに掲げ、教育課題に対応した研修の実施、生徒指導や特別支援教育、並びに教育の情報化に関する支援、学校訪問指導・出前講座・要請訪問の実施など、教育庁各課室や教育事務所と連携を図りながら、教育の質の向上に貢献するよう業務を行っています。

さらに、本センターは、学校教育活動の活性化に役立ち、今日的な教育課題の解決の一助となることをめざし、理論と実践に基づいた調査・研究に取り組んでいます。この研究紀要には、令和7年度調査・研究から8本の研究成果を収録しています。これらの内容が、各校の教育実践の参考となり、児童生徒や地域の実態に応じた学校づくりや学級づくり、教職員一人ひとりの資質能力の向上をめざす研修や研究活動に活用され、「令和の日本型学校教育」の実現に向けた学校教育の改善・充実につながることを切に願っています。

最後に、研究を進めるにあたり、ご支援・ご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

令和8年3月

島根県教育センター 所長
島根県教育センター浜田教育センター長
大場 尚 樹

【研究紀要】

R7-1 島根の子どもの資質・能力を育む授業づくり ～単元構想シートの効果的な活用に向けて～（3年次/3年）	島根県教育センター 企画・研修スタッフ 共同研究
R7-2 学校組織の ICT 活用を促進する教育センターの情報提供の在り方に関する研究～生成 AI 等の最新動向の整理を通して～（1年次/1年）	島根県教育センター 研究・情報スタッフ 共同研究
R7-3 子どもたちが人とつながりながら自分らしく生きようとするために ～「心の基地」を育みながら～（1年次/3年）	島根県教育センター 教育相談スタッフ 共同研究
R7-4 多様な子どもの主体的な学びを支える授業づくりに向けた一考察 ～「学びの主体的な調整」を促す授業デザイン～（1年次/2年）	島根県教育センター浜田教育センター 研究・研修スタッフ 共同研究
R7-5 多様な子どもの主体的な学びを支える授業づくりの推進 ～ユニバーサルデザインの視点から～（1年次/2年）	島根県教育センター浜田教育センター 教育相談スタッフ 共同研究
R7-6 子どもが主体的に問題解決をする理科の授業づくり ～問題を見いだす力を育成する導入の工夫～	島根県教育センター 企画・研修スタッフ 高橋 隆子
R7-7 高等学校理科（物理）において生徒が自分事として課題を捉えることができる導入を目指して	島根県教育センター 研究・情報スタッフ 福田 秀孝
R7-8 子どもを主語にした学級づくりと授業づくりに関する一研究	島根県教育センター浜田教育センター 研究・研修スタッフ 片岡 靖典

